

平成29年度市町村職員先進施策調査研修

空き家対策コース

(H30.1.22~23)

参加人員 5市1町 計8名

◎ 群馬県高崎市

高崎市は、空き家対策として、管理されないまま放置され、周囲に危険を及ぼす恐れのある老朽空き家に至らないよう、敷地や空き家が管理されない建物内部の管理委託費の助成をはじめ空き家の解体費用、空き家活用として自治会等の地域社会の活性化のため、高齢者同士や子どもを持つ家族の交流の場となるサロンの運営を目的とした改修及び家賃の助成を行うなど、各種助成制度を設け、総合的な空き家対策に取り組んでいる。



◎ 群馬県太田市

太田市は、専門的かつ客観的な視点による意見を聞き、行政としての望ましい対応のあり方を検討するため、「空家等対策協議会」を設置。同協議会における意見や法の趣旨も踏まえ、実効性のある総合的な住宅政策の一環として、市民に広く周知し、空家等の対策を計画的に進めるため、「空家等対策計画」を策定。同計画では「空家等(特定空家等)の発生抑制」、「利活用の促進」、「管理不全な空家等の解消(特定空家等への対処)」に分類し、各種対策に取り組んでいる。



ファシリティマネジメントコース
～公共施設の管理運営・活用のあり方～
(H30.1.25～26)

参加人員 4市 計6名

◎ 神奈川県海老名市

海老名市は、海老名駅自由通路、えびな市民活動センター、中央・有馬図書館など14施設に指定管理の導入や総合窓口の民間委託など、市民サービスの向上や効率化を目指し、積極的に取り組んでいる。

➤ 図書館の民間委託

書店やカフェを併設、子ども専用のキッズライブラリーの設置、宅配サービスや返却ボックスの設置(庁舎・コンビニ)など利用者目線に立ったサービスを行っている。

➤ 窓口業務の民間委託

(委託対象業務) ①フロア案内業務②市民総合窓口業務(証明発行、住民異動、戸籍届出等)③福祉総合窓口業務



◎ 神奈川県秦野市

秦野市は、「公共施設白書」(平成21年)、「公共施設の再配置に関する方針」(平成22年)及び「公共施設再配置計画」(平成23年)を策定。PPP(公民連携)の手法を取り入れた公有財産の活用に取り組んでいる。(事例) 庁舎敷地を活用したコンビニエンスストアの誘致、保健福祉センターに郵便局を誘致し、証明書交付業務を実施、保育園跡地を賃貸し、障害者福祉施設を民営化、民間活力を利用して中学校体育館と公民館等を複合化(事業中止)、市立幼稚園の民営化等
直面する課題に備えるとともに、将来にわたり必要性の高い公共施設サービスを持続可能とするため、様々な手法や新しいアイデアを駆使しながら、公共施設マネジメントに取り組んでいる。



共生型の地域づくりコース

(H30.2.8～9)

参加人員 2市 計4名

◎富山県富山市(まちなか総合ケアセンター)

富山市まちなか総合ケアセンター(H29.4オープン)は、子育て支援や在宅医療、地域コミュニティ(ソーシャルキャピタル)の醸成などを推進するための事業を展開し、乳幼児から高齢者、障害者を含む、全ての地域住民が安心して健やかに生活できる健康まちづくりを推進している。

更に、総曲輪レガートスクエア内の民間施設と共同事業を展開し、行政や大学、企業、NPO法人、地域住民などが一体的、持続的に健康まちづくりに取り組む仕組みを創出することを目指すこととしている。



◎富山型デイサービス(富山市障害福祉課)

年齢や障害の有無にかかわらず、誰もが一緒に身近な地域でデイサービスを受けられる新しい形の福祉サービス「富山型デイサービス」。

小規模ゆえに家庭的な雰囲気の中、利用者が自然に過ごせることや個々の状態に合わせたきめ細かい介護が受けられること、利用者限定しないため、お年寄りが小さな子どもを見守ったり、障害のある方がスタッフのお手伝いをすることがあるなど、富山型デイサービスには様々な相乗効果を生み出す可能性があり、それぞれの事業所が地域に根ざした利用者本位のサービスの提供を目指し個性ある事業所運営を行っており、富山市は富山型デイサービス拡大に向けた支援など各種取り組んでいる。



※ 人事評価の実践コース(H30.2.14～15)は、参加者少数のため研修中止